

まつやま  
MATSUYAMA  
アート  
ART COLLEGE  
カレッジ

現代を生きるわたしたちの知恵  
視点としてのアートを知る

2022年7月~12月

アートと福祉学科 全3回

現代アート入門学科 全3回

会場

愛媛大学 社会共創学部本館  
総合研究棟2(城北キャンパス内)3階  
「CRI-2教室」

各回定員30名  
参加無料

主催 松山ブンカ・ラボ / 松山市 / 松山市文化創造支援協議会  
後援 松山アーバンデザインセンター



松山ブンカ・ラボ  
愛媛大学 社会共創学部



# アートと福祉学科

全3回

01 7/27(水) 02 10/19(水) 03 11/16(水)

各日 19:00 ~ 20:40 (100分)

会場 ▶ 愛媛大学 社会共創学部本館 / 総合研究棟2 (城北キャンパス内) 3階「CRI-2教室」

定員 ▶ 30名 参加無料

**講師** 田中真実 (STスポット横浜 事務局長)

**ゲスト** 中村麻美 (OUTBACKアクターズスクール 校長) ※10/19のみ

近年、アーティストと障害者が協働し、ワークショップ、演劇やダンス公演、展覧会などが全国各地で活発におこなわれています。その背景にある障害者とアートを取り巻く環境や制度を理解し、様々な現場の事例に触れながら、今後私たちがどのような形でアートや福祉、ケアの分野に関われるかを考えます。



STスポット横浜による福祉施設でのダンスワークショップ (アーティスト/白神もこ)

人が人として生きていくためのアート(芸術や文化)と福祉、ということを最近考えています。さまざまなことが分業になり、サービスも細くなり、専門性が高くなることで、人との付き合い方も部分的になっているのではないかと感じています。アートと福祉の、その人を丸ごととして捉えることができる面白さに魅力を感じて、私はアートや福祉に関わってきたのかもかもしれません。今起きていることを確認しながら、これからの可能性についてみなさんと一緒に考えていきたいです。



**田中真実**(認定NPO法人STスポット横浜 副理事長・事務局長)

1984年東京生まれ。大学で地理学、大学院で都市計画を専攻し、コミュニティや地域文化に興味を持つ。2008年STスポット横浜入職。文化施設や芸術団体と学校現場の連携プロジェクトを担当。2020年4月より、神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターの運営を開始。芸術文化分野での中間支援のあり方について、模索している。



**中村麻美**(OUTBACKアクターズスクール 校長)

横浜市出身。早稲田大学第一文学部在学中よりBankART1929の運営に関わる。2005年から世田谷パブリックシアターで教育普及事業を担当。2012年以降、横浜市内の福祉事業所で支援職として働きながら、精神疾患のある人と劇を作ったり、芸術活動を障害者支援に活かす方法を模索。2020年KP神奈川精神医療人権センターの立ち上げに関わる中、OUTBACKアクターズスクールの構想を組み立て、現在に至る。



01 9/2(金) 02 10/21(金) 03 12/2(金)

各日 19:00 ~ 20:40 (100分)

会場 ▶ 愛媛大学 社会共創学部本館 / 総合研究棟2 (城北キャンパス内) 3階「CRI-2教室」

定員 ▶ 30名 参加無料

講師 塚田美紀 (世田谷美術館 学芸員)

「なにがアートでなにがアートでないの?」「これはよいアートなの?」というような素朴な疑問から考えていく入門講座です。「今私たちが生きている時代のアート」について、わかりやすい作品解説に定評があり、アートと自分なりにつきあうための教育プログラムを手がけてきた塚田美紀さんが楽しくお話しします。



松山ブンカ・ラボ「まつやまりサーチプロジェクト」  
(スプーンを作り街のお店で使う)

小学校の図工室。退屈そうに課題に取り組みながら「アートだからなんでもいいんでしょ?」と、美術館から来た私に言い放つ10歳の子ども。20年ほど前のことです。このコースを受講するあなたは、いまや30歳前後となったその人と同世代かもしれないし、違うかもしれないけれど、とにかく同じ時代を生きている。おもしろいことをしたい・知りたいのに、なかなか出会えない。なんでもアートだといわれても、ますますおもしろくない。そんな時代。

この退屈な世界を、どうにか別の眼で見ることができないだろうか。小さくても、あっ、と思える発見を重ねたいのだが。そんな思いを持っている方が、ささやかなヒントを持ち帰れるような場をつくりたいと思います。

塚田美紀 (世田谷美術館 学芸員)

2000年より世田谷美術館勤務。小学校向けのプログラム、美術×身体表現のワークショップ、建築を活かしたパフォーマンス・シリーズなど、多様なユーザーに向けて美術館の枠を広げるような事業を多数手がけつつ、2008年以降は「冒険王 横尾忠則展」を皮切りに展覧会企画も担当。共著に『Butoh入門 肉体を翻訳する』(文学通信、2021年)、『現代に生きる博物館』(有斐閣、2012年)、『展示の政治学』(水声社、2009年)など。訳書に『エドワード・スタイケン写真集成』(岩波書店、2013年)など。企画展「アルバレス・ブラボ写真展—メキシコ、静かなる光と時」(2016年)は、第12回西洋美術振興財団学術賞などを受賞。



撮影:平岡至

# 現代アート入門学科

全3回



## お申込み方法

メールまたは参加フォーム(QRコード)よりお申込みください。

※名前、住所、電話番号、年齢を明記

メールアドレス [bunkamatsuyama@gmail.com](mailto:bunkamatsuyama@gmail.com)



### 会場

愛媛大学 社会共創学部本館／総合研究棟2  
(城北キャンパス内) 3階 「CRI-2教室」  
愛媛県松山市文京町3

### アクセス

市内電車「赤十字病院前」下車 徒歩3分

※駐車場(車、バイク)はご利用いただけませんので、  
公共の交通機関をご利用ください。

### 『松山ブンカ・ラボとは』

松山市が2018年3月に策定した「松山市文化芸術振興計画」に基づき愛媛大学社会共創学部寄附講座として実施している文化芸術推進のための中間支援事業です。

ホームページ

<https://bunka-lab-matsuyama.com>

問い合わせ先

メールアドレス ▶ [bunkamatsuyama@gmail.com](mailto:bunkamatsuyama@gmail.com)

電話 ▶ 080-9833-9869

松山ブンカ・ラボのプログラムはどなたでも参加できます。

申込みをするにあたって不明なことがある方や、障害をお持ちで不安や心配ごとのある方など、いつでもご相談ください。